

2021年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・社会人特別選抜) 問題

筆記試験 哲学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

2021年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・社会人特別選抜) 問題

筆記試験 (哲 学 専攻分野)

1 以下の引用文を参考に、当事者の1人称の視点からの言説と客観的ないし科学的な立場からの言説の違いについて考えを述べなさい。(解答用紙は本問題用紙の3～4頁にある。)

当事者研究は、当事者が、自らの体験や困難、問題を、それらを共有する仲間と共に研究する営みであると同時に、それらを共有しない人に対して語り出すという営みでもある。当事者の側は、自らの体験を可能な限り細部へと分節し、読者に理解可能な、共有可能な言葉で語ることによって、読者の体験に歩み寄る。読者の側は、自らの体験を可能な限り細部へと分節し、自らの体験のリソースの中から、当事者の体験の細部と照合可能なものを見つけ出すという努力を求められる。(石原孝二『精神障害を哲学する』東京大学出版会、2018、p. 235f.)

2 次の6項目のうち **4つを選択** し、それぞれについて、**3～6行程度** で説明しなさい。

(解答用紙は本問題用紙の第5～6頁にある。解答する項目ごとに、まず項目番号を所定の欄【 】に記入し、続けて解答を書くこと。解答順は任意でよい。)

① デュナミス/エネルゲイア

② 神の存在論的証明

③ 機会原因論

④ 主人と奴隷の弁証法

⑤ 純粹持続

⑥ 現存在分析

3 以下の英文の「 」の部分を和訳しなさい。(解答用紙は本問題用紙の7~8 頁にある。)

※著作権上の問題があるため、表示しない。

(Charles Taylor, Hegel, Cambridge University Press, 1975, p.76)

受験記号番号	
--------	--

2の解答欄 (全2頁中の1頁目)

項目番号:【 】

項目番号:【 】

2の解答欄 (全2頁中の2頁目)

項目番号 : 【 】

項目番号 : 【 】

